

ハタチ 20歳の夢

どこまでも高く

1月12日、成人式が行われ、本市では711人の方が大人の仲間入りをしました。一人ひとりがそれぞれの夢を持ち、その実現に向けて歩みを進めています。今月号では、「20歳の夢、どこまでも高く」と題し、新成人4人のインタビューをお届けします。



はやし りゅうぞう
林 竜三さん (東釜子) Hayashi Ryuzo
●趣味 釣り、ボーリング

夢 自動車整備士

職場体験の思い出、今度は自分が

「お客さんに安心して車を任せてもらえる整備士になりたい」と話すのは、自動車整備士を目指し、その分野の専門学校に通う林竜三さん。夢のきっかけは中学生時代の職場体験でした。職場体験は、生徒が事業所などの職場で実際に体験したり、働く人々と接したりする学習活動で、各学校で行われています。

体験で訪れたのは、市内の自動車整備工場でした。2日間で自動車の修理や塗装がしなど様々なことを体験する中で、それらの作業がとても楽しく、自分に合っていると感じました。また、作業を親切に教えてもらい、良い印象を持ったことも理由のひとつです。

近い目標は、「二級ガソリン自動車整備士」と「二級ジーゼル自動車整備士」という2つの国家資格を取得することで、日々勉強に励んでいます。

将来は教える側になり、職場体験に来た中学生に夢を与えることができたらと、当時の思い出を振り返りながら話す林さん。その目には、自分の目標が色濃く鮮明に映し出されていました。



ほし こうへい
星 康平さん (大信豊地) Hoshi Kohei
●趣味 映画鑑賞、水泳

夢 看護師

いつか母に恩返しを

小学6年生のときにみんなで埋めたタイムカプセル。開ける約束をした20歳を迎え、掘り起こしたカプセルの中には、いくつかの物と母からの手紙が入っていました。

「幼いころは体が弱く常に病院に通い、母に心配を掛けました」と話す星康平さん。母の手紙には、病弱だった我が子の成長の喜びと、夢に向かって頑張ってほしいとの願いがこめられていました。

小学生のときからの夢は看護師。男性看護師を題材としたテレビドラマに影響を受け、現在は看護分野の専門学校に通い、勉学の日々を送っています。

星さんは3歳のときに病気で父を亡くし、母と兄の3人家族です。中学生のころ、目の病気で母が2か月の入院を余儀なくされ、掃除、洗濯などの家事を経験、母の大変さを痛感しました。それからは、いつの日か母に恩返しをしたいという思いを人一倍持つようになったと話します。

看護師になることと母への恩返し。さわやかに話すその表情から、近い将来、2つの夢が実現することを予感しました。



ぬまた まい
沼田麻衣さん (表郷内松) Numata Mai
●趣味 スノーボード、ピアノ、音楽鑑賞

夢 保育者

笑顔を絶やさずみんなを笑顔に

幼稚園時代の担任の先生にあこがれ、保育者になることを目指す沼田麻衣さん。いつも笑顔で優しい先生に、ハサミの持ち方でしかられたことが今でも記憶に残っていると話します。短大の実習で園児たちと接した際に、あのかの先生がどんな思いで自分をしかつたのかを、身をもって知ることができました。

努力のかいあって、長年思い描いた夢がついにかない、4月から市内で保育者として働くことが内定。今はその日が来るのを楽しみに待っています。

「優しさはもちろんですが、ときには厳しくもありたい。そして笑顔を絶やさず、子どもたちも笑顔にできる保育者が理想です」と満面の笑みを見せる一方で、外遊びが当たり前だった自分の子どものころと、原発事故の影響で外遊びの時間が制限されている今の子どもたちの現状を比べ、表情を曇らせる一面もありました。

子どもたちが運動不足にならないようにいろいろ工夫したいと真剣に話す沼田さんは、すでに保育者としての雰囲気を感じていました。



ふじい ゆうき
藤井優希さん (大) Fujii Yuki
●趣味 書道、スポーツ (特にバレーボール)

夢 看護師・養護教諭

夢を与えることができる人間に

幼いころ病気で大学病院に入院したことがある藤井優希さん。入院中の子どもたちが集まる院内学級で出会った保健の先生にあこがれを抱きました。

「とても優しい先生で、体調が悪くなったときの処置の的確さを見て、子どもながらに格好いいと思いました」と当時を振り返ります。また、看護師の母から仕事の話や聞き、興味がわいたことも看護師を目指すひとつのきっかけになりました。母と同じ職業で経験を積み、そしていつの日か、小学校の保健の先生(養護教諭)になることを夢見て、現在、看護分野の専門学校に通っています。

震災を経験したのは高校2年生のときでした。その2か月後に藤井さんは、人の役に立ちたい、誰かのために何かをしたいという思いから、友人とともに中央体育館でボランティア活動に参加します。そこで得た経験がさらに夢への思いを強くしました。

「いつか自分も、人に夢を与えることができる人間になりたい」と話すその瞳の奥に、夢に向かってまっすぐに進む揺るぎない信念が感じられました。